

# ごあいさつ

## 国際看護研究会第14回学術集会開催にあたって

国際看護研究会第14回学術集会

会長 永田容子（公益財団法人結核予防会結核研究所）

初秋の候、本日は当学術集会にお越しいただき、誠にありがとうございます。1996年に発足した「国際看護研究会」の学術集会も、今年で14回目を迎えることができました。本学術集会開催にあたりましては、「JICA 地球ひろば」のご協賛を賜ることができ、この場をお借りしまして心より御礼申し上げます。また、学術集会運営にご理解をいただき、ご寄付をお寄せ下さいました皆様にも厚く御礼申し上げます。

さて、本年3月11日は、誰もが予想しなかった東日本大震災が起き、津波による甚大な被害、その後の福島第一原子力発電所の事故の影響は、国内だけでなく海外にも大きく取り上げられました。国内外から多くの人的・物的援助が寄せられ、現在でも被災地ではたくさんの方々が無事に復興へ向けた努力を続けています。一日も早く復興することをお祈りしています。

今年度の学術集会では、結核をはじめとする感染症対策に焦点を当てて、"世界に貢献できる「日本の看護の技」～感染症対策の原点；ケツカクで鍛える地頭・底力～"をテーマに、我々の先輩たちがいかに日本の公衆衛生看護の発展に貢献してきたか、そしてその培ってきた英知を現代にどのように活かしていくか、という学びを皆様とともに共有したいと考えています。

さらに、この"日本の看護の技"を国際協力の看護の場面で取り組む原動力とすることを願い、シンポジウムも2題をご用意しました。いずれも、今まさに注目されているトピックスです。

シンポジウム1 「災害時における健康管理」

シンポジウム2 「感染症対策の実際」

一般演題は、「地域保健」「在外邦人・在日外国人」「人材育成」という3つの群分けを行い、ポスター発表も7題を設けさせていただきました。また、学術集会の終わりには、参加者がより気軽に交流いただけるよう恒例の茶話会も企画しています。参加者の皆さまにとって有意義な機会となりますよう、実行委員一同、心より願っております。

末筆となりましたが、本日の開催にあたっては準備委員、査読委員、実行委員の皆様にご公私を超えたご尽力をいただき、開催の日を迎えることができましたこと、あらためて御礼申し上げます。

2011年9月10日

## <会場別進行一覧表>

時間	第1会場 (講堂)	第2会場 (セミナールーム202)
10:00～10:30	受付	10:00～ ポスター掲示開始 *10:30 ポスター掲示完了
10:30～10:35	オリエンテーション 開会のあいさつ	
10:35～11:15	基調講演 「世界に貢献できる『日本の看護の技』 ～感染症対策の原点;ケツカクで鍛える 地頭・底力～」	
11:20～12:20	一般演題(口演)4題 第1群「地域保健」	一般演題(口演)3題 第2群「在外邦人・在日外国人」
12:20～13:30	* 昼食・休憩 13:00～13:30 国際看護研究会 総会	* 昼食・休憩
13:30～15:00	シンポジウム1 「災害時における健康管理」	13:40～14:25 一般演題(口演)3題 第3群「人材育成」
15:05～16:35	シンポジウム2 「感染症対策の実際」	一般演題(ポスター発表)7題 発表時間 14:40～15:10 3題 15:10～15:50 4題
16:40～17:30	閉会のあいさつ・茶話会	ポスター撤去

## <プログラム>

### 【第1会場 3階講堂】

10:30 -10:35 オリエンテーション・開会のあいさつ

10:35 -11:15

#### 基調講演

座長：森 淑江（群馬大学）

世界に貢献できる「日本の看護の技」～感染症対策の原点；ケツカクで鍛える地頭・底力～

第14回学術集会会長 永田容子（公益財団法人 結核予防会 結核研究所）

11:20 -12:20

#### 一般演題（口演） 第1群「地域保健」

座長：芝山 江美子（高崎健康福祉大学）

- 0-1 ラオスビエンチャンにおける地域母子保健改善プロジェクト  
田中和子（群馬大学大学院保健学研究科）
- 0-2 タジキスタン共和国における母子健康手帳の活用に関する研究  
山岸映子（石川県立看護大学）
- 0-3 モロッコ王国における学校保健活動の導入  
岡田恵利（元青年海外協力隊）
- 0-4 スリランカ女性の健康増進行動に心血管疾患予防対策の検診が与えた影響  
小山佳那子（公益財団法人 結核予防会 結核研究所）

12:20 -13:30 昼食・休憩

13:00 -13:30 平成23年度 国際看護研究会総会（会員参加）

13:30 -15:00

シンポジウム1 「災害時における健康管理」

ファシリテータ：青柳 美樹（国際医療福祉大学）

【シンポジスト】

- 東日本大震災 災害地での感染制御活動と課題  
菅原えりさ（日本赤十字社医療センター）
- 国際協力NPOが担った巡回健康相談班におけるコーディネーターの役割と課題  
山本裕子（特定非営利活動法人 シェア=国際保健協力市民の会）
- ジャワ島ジョグジャカルタ地震被災地の緊急支援における看護の役割  
阪神淡路大震災における被災外国人の背景と経験および支援  
伊藤尚子（国際医療福祉大学小田原保健医療学部）

15:05 -16:35

シンポジウム2 「感染症対策の実際」

ファシリテータ：山崎 明美（信州大学）

【シンポジスト】

- ネパールカトマンズでの結核対策における保健師活動  
植田恵美（JOCV（青年海外協力隊）OG 大阪府和泉保健所）
- 国際協力を通じた感染症対策での経験から  
吉武桃子（ICNet 株式会社）
- 知のブローカー：JICA 中米シャーガス病対策の経験から  
吉岡浩太（JICA ニカラグア シャーガス病対策プロジェクト専門家）

16:40 -16:45 閉会のあいさつ

16:45 -17:30 茶話会 \* どなたでもお気軽にご参加ください。

## 【第2会場 2階セミナールーム202】

11:20 -12:05 一般演題（口演） 第2群「在外邦人・在日外国人」  
座長：宮越 幸代（長野県看護大学）

0-5 米国（シカゴ）と日本における医療システムおよび看護の相違  
デッカー清美（埼玉医科大学保健医療学部）

0-6 入学時の健康診断結果からみえてくる留学生の健康問題  
田中ゆり（政策研究大学院大学保健管理センター）

0-7 シンガポール在留邦人の予防接種  
山田杏子（群馬大学大学院）

12:05 -13:40 昼食・休憩

13:40 -14:25 一般演題（口演） 第3群「人材育成」  
座長：小林 典子（公益財団法人結核予防会結核研究所）

0-8 市民参加の国際協力に向けて JOCV/OV による国際協力シンポジウムの参加者アンケートから  
磯邊厚子（京都市立看護短期大学）

0-9 JICA 看護指導者育成研修の実施報告  
齋藤理奈（財団法人 国際看護交流協会）

0-10 E P A で来日している看護師候補生等への日本語習得と労働に関する課題  
堀口みゆき（市立札幌病院）

14:40 -15:50

一般演題 (ポスター)

座長：永田 容子 (公益財団法人結核予防会結核研究所)

〈P-1~3〉

座長：山下 瑠璃子 (国際医療福祉大学) 〈P-4~7〉

- P-1 医療と保健のはざままで～エチオピア・アムハラ州遠隔地におけるリファラルシステムから感染症対策を学ぶ～  
中野久美子 (JICA 専門家)
- P-2 地域看護における青年海外協力隊の経験についての一考察—グアテマラでの活動を経て—  
田辺 歩 (港区みなと保健所)
- P-3 台湾の結核対策と DOTS  
永田容子 (公益財団法人結核予防会結核研究所)
- P-4 学生が体験したキューバスタディツアー2011  
小川将太 (群馬大学)
- P-5 インドネシア北スラウェシ州マナド市における災害を受けた死について  
芝山江美子 (高崎健康福祉大学)
- P-6 国際協力の視点からみた看護労働力受け入れの実状と問題点に関する一考察  
森岡広美 (近畿大学医学部附属病院)
- P-7 在日外国人への支援の一例を通して感じたこと  
石栗理絵 (台東区保健サービス課浅草保健相談センター)